

これまでの水路転落事故防止対策の実施状況

水路転落防止対策の実施状況

緊急箇所整備事業

- 本市では、2000年(平成12年)に沖野上町において発生した道路から水路への転落死亡事故を受け、2002年(平成14年)に転落危険箇所の一斉点検を実施し、2003年度(平成15年度)から「緊急箇所整備事業」として、道路への転落防止柵の設置による転落事故防止対策を実施してきた。
- 当初、福山駅を中心とする市街化区域(約2,200ha)から対策に着手し、15年間で順次対象区域を拡大(約7,300ha)し、対策を実施してきた。

【事業期間】 2003年度(平成15年度)～2017年度(平成29年度)

【実施区域】 市街化区域内(約7,300ha)

【整備延長】 約125km

【事業費】 約23億円

道路転落事故防止対策プログラム

- 2018年度(平成30年度)からは、対象区域を市内全域に拡大した「道路転落事故防止対策プログラム」を策定し、計画的に対策を実施している。

【事業期間】 2018年度(平成30年度)～2022年度(令和4年度)

【実施区域】 市内全域(約52,000ha)

【整備延長】 約35km

【事業費】 約7.5億円

これまでの対策実施の事例



事例1: 転落防止柵



事例2: ガードレール



事例3: チェーン(管理用出入口等)



事例4: 区画線(路肩のカラー化)

これまでの対策実施の事例



事例5: 隙間対策 (ポール等)



事例6: 視線誘導標

**水路、ため池などの
転落事故に気をつけましょう。**

周囲の安全確認をする。
不安な箇所では押して歩く。
酒を飲んだら、自転車に絶対乗らない。

《守ってほしいこと》

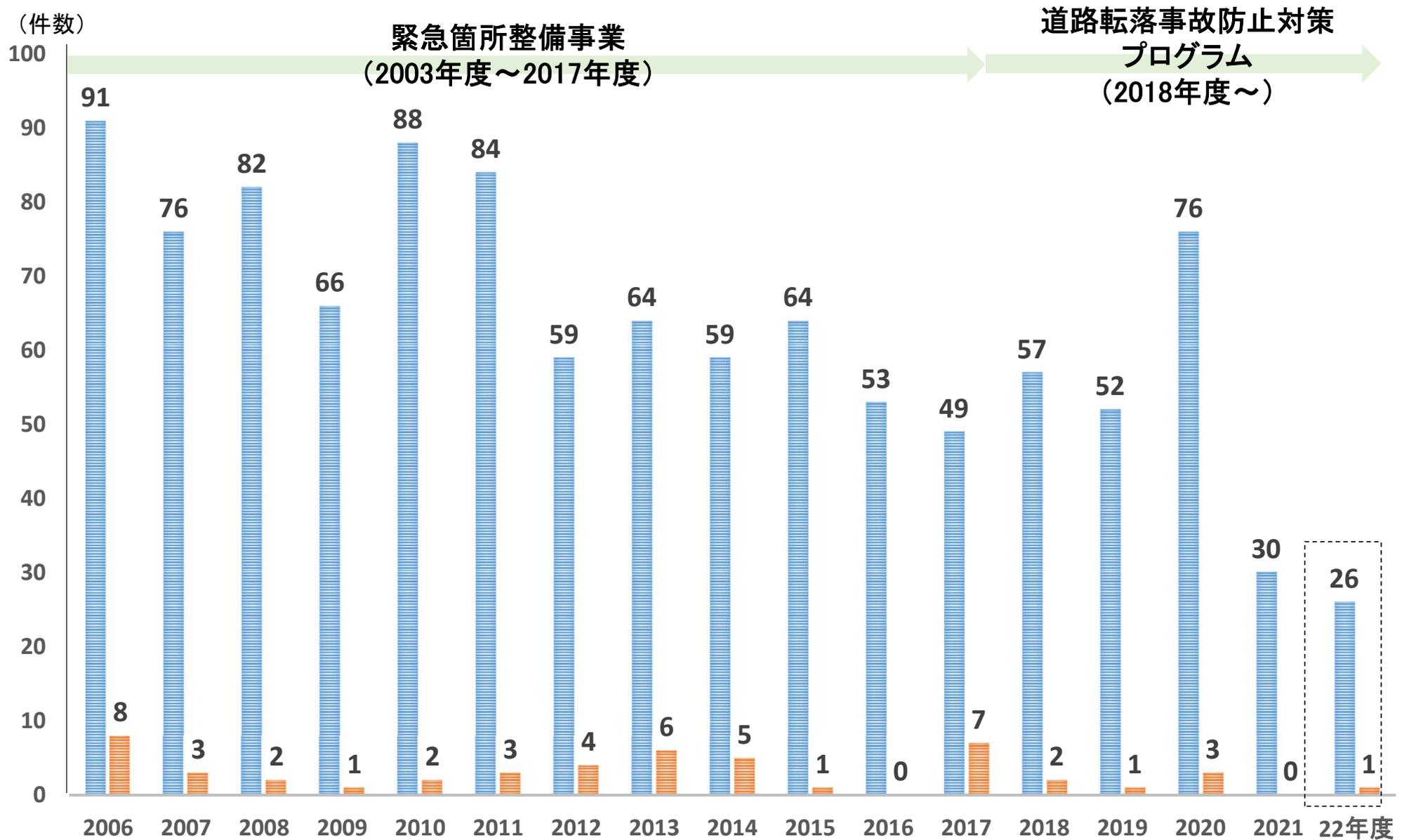
- ・酒を飲んだら、自転車に絶対乗らない。
- ・酒を飲んだら、できるだけ移動距離を少なくする。
- ・夜間の外出には懐中電灯を携帯するなど、暗い中での行動には気をつける。
- ・散歩コースは、より安全なコースを設定する。
- ・自転車に乗る時は、とっさの事態に備えて、より安全な所を通行する。
- ・不安な箇所では自転車を降りて、押して歩くなど、用心する。
- ・歩行中、自転車乗車中は、常に左右や後方など、周囲の安全確認をする。
- ・家族やまわりの人からの声かけが大切。

福山市

事例7: ソフト対策 (啓発)

道路から水路への転落事故の件数

■ 負傷事故 ■ 死亡事故



※ 2022年度は11月30日までの件数。